

令和2年度事業報告書

公益財団法人 水戸育英会

1 学生寮の運営

1) 学生寮の概要

- ① 場 所 東京都世田谷区上用賀4丁目1番24号
- ② 敷 地 748坪 (2472.7 m²)
- ③ 建 物 学生寮(耐火構造2階建、1100 m²)、管理棟(平屋建、68 m²)
- ④ 部屋数 寮生の部屋は全員個室、専用床面積は14室が12.96 m²、34室が8.10 m²である。他に付属室が6室ある。
- ⑤ 定 員 48名(令和2年度当初実績:大学院生1名、4年生11名、3年生8名、2年生9名、1年生12名、合計41名)
- ⑥ 施 設 食堂兼集会室、浴室、図書室兼勉強室、書庫、談話室(和室2室)、全天候型テニスコート等。寮生各室にエアコン、インターネット配線を設置。

2) 寮生の1ヶ月の負担額

寮費は月額5万円とし、直接経費として2万5千円を当会に納入させる。また、光熱・用水費等を主とする寮特別会計(1)1万円と、食費を主とする寮特別会計(2)1万5千円を合わせた自治寮費の2万5千円は寮生会計に納入させて、予算制によって実施運営させている。なお新型コロナ対応として、令和2年9月以降寮費の特別減額措置を実施した。申請により1ヶ月1万5000円の減額を実施した。

3) 入寮生の選考方法

当寮より通学可能な大学の男子の1年生で、原則、長く茨城県内に在住する県下の高校出身者を条件として、出身高等学校の調査書、当会所定用紙による身上調書を提出させ、理事長から委嘱された理事・評議員計3名で構成される選考委員会が面接の上、合議により選出し、理事長が入寮を決定する。なお、選考には寮生の代表4名を立会わせて委員会に推薦させている。

4) 令和3年度新入寮生の募集・選考結果

令和3年度の新入寮生の募集については、募集要領をインターネットのホームページに掲載した他、令和2年11月下旬に茨城県下の高校へ送付した。更に2年12月～3年2月に数回、茨城新聞および読売新聞(茨城県版)に新入寮生の募集案内を掲載し、また県下の一部自治体広報に募集広告を行い、下記の日程で選考した。

応募期間: 令和3年1月20日～3月10日

選考日: 第1回 令和3年3月4日、第2回 3月11日

その結果、14名の面接を行い、厳正なる審査の結果、合格者14名を令和3年度の新入寮生として採用したところ、3名の辞退者あり、11名を確定採用した。なお、当年度については特別追加募集を9月末日迄行うこととした。

2 庶務の概要

1) 役員名簿・・・別添資料の通り。

2) 雇人 桑澤明彦・・・寮の庶務及び保安全管理を担当

3) 食事提供方式

サンコー食品株式会社との間で、平成31年1月18日食堂業務委託契約（平成31年3月1日開始）を締結し、これを令和2年度以降も継続中である。

4) 会議

① 令和2年5月16日理事会を開催

- ・ 令和元年度の事業報告及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録について審議し、承認された。
- ・ 同上議案等の審議の為に、評議員会を5月30日に召集する事が承認可決された。

② 令和2年5月30日 評議員会を開催

- ・ 令和元年度の事業報告及び収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録について審議し、承認された。
- ・ 任期満了による理事、監事の選任が行われ、7名の理事、2名の監事が選任された。

③ 同日引続いて理事会を開催し、任期満了による理事長、常務理事選定の件を審議し、理事会全員一致をもって理事長足立和夫義、常務理事軍司育雄が重任として選定された。

④ 令和3年3月13日 理事会を開催

- ・ 令和3年度の事業計画、収支予算書及び資金調達・設備投資の見込みについて審議し、承認された。
- ・ 同上議案審議の為に、評議員会を3月27日に召集する事が承認可決された。
- ・ なお席上新寮建替に関する中間的な報告がなされ了承された。

⑤ 令和3年3月27日 評議員会を開催

- ・ 令和3年度の事業計画、収支予算書及び資金調達・設備投資の見込みについて審議し、承認された。
- ・ なお席上新寮建替に関する中間的な報告がなされ了承された。

5) 各種届出等

① 令和元年度事業報告書等の提出

事業報告書及び収支計算書等を、令和2年6月15日に東京都知事宛に電子で提出した。

② 令和2年6月1日に理事等役員の変更登記申請をした。

③ 令和 3 年度事業計画書等の提出

事業計画書及び収支予算書等を、令和 3 年 3 月 29 日に東京都知事宛に電子で提出した。

④ 情報公開

水戸育英会ホームページに、定款、役員名簿、令和元年度事業報告書及び貸借対照表、令和 2 年度事業計画書及び収支予算書を掲載した。

3 事業の状況

1) 寮舎等の補修工事

今年度は、植栽管理 4 6 万円、浴室給湯用ボイラー部品交換 2 2 万円、給湯ボイラーの部品交換 7 万円、エントランス漏水調査 5 万円などを実施した。
他に大きな補修工事は無かった。

2) 寮生の指導・援護

寮生の東京での修学を援護するために、育英会の役員（理事長、学監、副学監など）が毎週金曜日に、塾長以下の学生の自治委員と面談を行ったほか、毎月第 3 金曜日に開催される寮生の自治会である塾生会に出席して、寮生に対し指導・援護を行った。

3) 寮生の行事

寮生の親睦を図ると共に協力の精神を涵養するために、寮生の行事として下記の行事を実施した。

令和 2 年 4 月 5 日 新入寮生のオリエンテーション、歓迎会の会食はコロナのため中止、夏季テニス大会中止、8 月 21 日 ソフトボール大会、寮生旅行中止、11 月 1 日 秋季テニス大会、12 月 5 日、12 月 6 日 塾祭、令和 3 年 2 月 19 日 卒業生歓送会（会食は中止）

4) 水戸育英会会報の発行

水戸育英会の会報である「塾友第 42 号」を作成し、令和 3 年 2 月に寮生及びその保護者、塾友(OB) に送付した。今号も寮生の原稿を充実させた他、塾友の「我が地域、回想、趣味」について特集した。また「コロナ禍の大学生活と水戸塾」のテーマで塾生座談会を掲載した。

5) 講演会、寮出身者との懇親会

塾友と寮生の懇親の場である塾友会総会を、令和 2 年 5 月 30 日(土)に水戸育英会において開催したが、コロナの影響で出席者も少なく、例年の講演会、懇親会は行わなかった。

6) 見学会

コロナの影響のため実施を見送った。

7) 水戸育英会学生寮建替関連

- ① 寮建替資金に充てるため、平成 31 年 4 月 1 日開始の寄附金受入を継続中である。令和 3 年 3 月 31 日現在の寄附金総額は 41,755,000 円となっている。なお、令和 3 年度末まで寄附は受入れを継続する。

- ② 寮建替資金充当目的の水戸塾用地一部売却の経緯は次のとおりである。
仲介依頼先は野村不動産アーバンネット外 3 社。売却予定価額は 4 億円（役員会承認済み）。
第 1 回入札（令和 2 年 12 月 25 日）には、計 5 社の応札があったが、いずれも予定価額に届かず入札は不調となった。
そこで再度売却額を 3 億 8,000 万円以上、売却面積を 230 坪（7,636 m²）として、第 2 回目の入札（令和 3 年 1 月 15 日）を実施したところ、トーセイ株式会社（大成有楽不動産の仲介）外 2 社の応札があり、結果、3 億 8,320 万円入札のトーセイ株式会社（東証 1 部上場）を落札者と決定した。
同社との間で、令和 3 年 2 月 5 日仲介業者立会の上、上記同額の不動産売買契約を締結した。引渡期限は令和 4 年 7 月 29 日までである。

- ③ 新寮建築請負会社決定の経緯は次のとおりである。
当法人が建築アドバイザーとして委託中の株式会社プラス PM の指導の下に、受注先候補として数社がリストアップされたところ実際に見積額を提示して入札参加したのは、3 社であった。その中で当法人の予定発注額の範囲内の価額応札会社は、風越建設株式会社のみであり、他社は高額に過ぎたため、対象外とした。
よって、上記風越建設株式会社を、令和 3 年 2 月 12 日落札者と決定し、同社との間で、令和 3 年 2 月 26 日請負代金（旧建物取壊代及び税込み）4 億 3,230 万円とする設計施行契約を締結した。
同契約調印後、建築アドバイザープラス PM 立会いの下に、受注社との間で継続的に設計協議等を開始したところである。

4、事業報告の付属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

以上